

様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

(家 庭) 小委員会委員長

草間 留美子



<p>調 査 研 究 ・ 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍、開隆堂の2者 <p>2 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回調査委員会（7月5日）で2者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月3日、4日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式2～6を作成した。 <p>3 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱内容、内容の構成、排列については、領域ごとの教科書の特色、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習活動、地域の実態や学年の発達段階に応じて、系統的、発展的に組織されていることという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、「学習意欲の向上」、「主体的な学習」、「使用上の便宜」にかかわる工夫という視点で調査し整理した。
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>1 東京書籍については、3ステップで問題解決的な学習を実現しており、ステップごとの学習に合わせた「トライシート」「基礎技術動画」「ワークシート」などの二次元コードが多用され、課題解決のための流れをわかりやすくしているという特色があり、優れている。</p> <p>開隆堂については、主体的・対話的な深い学びを実現する3つのステップで構成し、手順が横流れで記載、実習の基礎・基本となる技能が写真やイラスト、動画コンテンツで例示するなど、学習の流れをわかりやすくしているという特色があり、優れている。</p> <p>2 このほか、東京書籍は、SDGsの特設ページやWebサイトを新設している。開隆堂は、単元ごとにSDGsとの関連付けを記載している。また、両者とも日本の伝統的な衣食住について取り上げているなどの話題も出されていた。</p>

家庭の目標について

【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

教科の目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示すこととした。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(見方・考え方)を働かせることについて示すこととした。

なお、学年の目標については、これまで第5学年と第6学年をまとめて、家庭科で育成する資質・能力について三つの側面(家庭生活への関心、知識及び技能の習得と活用、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度)から具体的に示していたが、今回の改訂では、これらを整理し、教科の目標としてまとめて示すこととした。

○ 標準授業時数

第5学年－60 単位時間 第6学年－55 単位時間

様式3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
			2・東書	第5,6学年	家庭・503
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・ 排列					<ul style="list-style-type: none"> ○ 「A家族・家庭生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、日常生活の課題を解決する力を養い、家庭生活をよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、家族と協力して行う家庭の仕事について考える活動や、家族との団らんを計画する活動 ○ 「B衣食住の生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活をよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、よごれの種類や場所に合わせたそうじの仕方について考える活動や、目的に合った袋を製作する活動 ○ 「C消費生活・環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、目的に合った選び方や買い方について考える活動や、環境に配慮しながら季節に合った生活を工夫する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会へ物やお金の使い方」の題材において、学習課題を設定し、見直しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、環境や資源に配慮していることを周りの人と交流するなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見直しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「食べて元気！ご飯とみそ汁」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「まかせてね今日の食事」で栄養のバランスに加えて、いんどりや味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど、系統的に学習できるような工夫 ・「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、環境や資源に配慮した住まい方について考えるなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫
使用上の配慮等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安全」「環境」「発展」などのマークや「プロに聞く！」などのコラム欄を掲載したり、大きな写真やイラストを活用したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 題材ごとに「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり、学習の見直しをもつための「学習の流れ」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、全ての児童の色覚特性に適應するようデザインしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他					<ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第5,6学年	家庭・504
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列	<p>○ 「A家族・家庭生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、日常生活の課題を解決する力を養い、家庭生活をよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、自分にできる家庭の仕事について考える活動や、地域の中でできることを計画する活動 <p>○ 「B衣食住の生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活をよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、物の生かし方や不用品を減らす方法について考える活動や、生活に生かす袋を製作する活動 <p>○ 「C消費生活・環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよくしようと工夫する実践的な態度を育成するよう、買い物をするとき集める情報について考える活動や、資源やエネルギーの使い方を工夫する活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会のために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、地域で行われているごみを減らすための工夫や取組を調べるなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動 <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「クッキングはじめの一步」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「こんだてを工夫して」で栄養のバランスや調理の仕方、味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど、系統的に学習できるような工夫 ・「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、環境に配慮した衣服の手入れについて考えるなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫 			
使用上の配慮等	<p>○ 「安全」「環境」「発展」などのマークや「キャリアインタビュー」などのコラム欄を掲載したり、学習の案内役のキャラクターを活用したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 題材ごとに「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり、学習の見通しをもつための「学習のめあて」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、色覚の個人差を問わず見やすくなるように配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 4

<家庭科の具体的な調査項目>

◎調査項目

- ① 3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」のページ数
- ② 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 児童が3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」をバランスよく学習することが求められていることから、全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 実習・実験などの実験的・体験的な学習に当たっては、安全に十分留意することが求められていることから、安全と衛生への配慮について把握する必要があるため。
- ③ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	東書	開隆堂
①	3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」のページ数	「A 家族・家庭生活」	ページ数	35	32
			全体に占める割合	23%	21%
		「B 衣食住の生活」	ページ数	79	64
			全体に占める割合	53%	42%
		「C 消費生活・環境」	ページ数	8	14
			全体に占める割合	5%	9%
		「A 家族・家庭生活」 「B 衣食住の生活」 (※1)	ページ数	19	0
			全体に占める割合	13%	0%
		「B 衣食住の生活」 「C 消費生活・環境」 (※1)	ページ数	9	26
			全体に占める割合	6%	17%
		その他 (※2)	ページ数	0	18
			全体に占める割合	0%	12%
		総ページ数			150
前回の総ページ数			146	138	
増減			3%	12%	
②	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数 (※3)		31	32	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数		1	4	

(※1) 調査項目「AB」、「BC」については、編修趣意書に基づくものとする。

(※2) 「その他」は、巻末資料等とする。

(※3) 調査項目②の「実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数」については、「安全」マークを対象とする。

様式 6

様式 5 の調査項目③ [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

者	内容	教科書の構成 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	A B	地域の料理 (P149)	写真	地域の料理の例 (石狩なべ)
開隆堂	B	だしの材料と主な産地 (P53)	写真	だしの材料と主な産地の例 (こんぶ)
	B	～暮らしの中の文化にふれてみよう～「食文化」(P57)	写真	各地に伝わるみそやみそ料理の例 (ちゃんちゃん焼き)
	A	日本や世界のほっとタイム (P77)	写真	地域のおやつの例 (いももち)
	B C	住まいの音と快適さ (P107)	文章	豆知識 (残したい “日本の音風景 100 選”)